

体育実技Ⅱ (Physical Education Ⅱ)		5 年・前期・1 学修単位 (β)・必修 電子制御工学科・担当 松井 良明	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (1)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 A-1 (80%) A-2(20%)	〔JABEE 基準〕 (a) (b)	
〔教育方法等〕 概要： 3 年次までに習得した「保健・体育」の基礎学力，および 4 年次で学修した種々のスポーツ文化に対する知識や技能をいっそう高めるとともに，スポーツ文化の比較研究を通して，その多様性と具体的な取り組み方法について学ぶ。 授業の進め方と授業内容・方法： 種目選択性を導入することにより，自主的に運動を楽しむ態度やそれに伴う社会的責任について考える力を養う。 注意点： 関連科目： 保健・体育Ⅰ～Ⅲ，体育実技Ⅰ 学習指針： 日頃より，健康的な生活を過ごせるよう留意し，身近なスポーツ文化に対する関心をもつようにすること。 自己学習： 文化としてのスポーツに対する関心を高め，それらに関する情報収集を主体的に行っていく必要がある。			
〔教科書〕 「保健体育概論増補版」晃洋書房 近畿地区高専体育研究会編			
〔補助教材・参考書〕 なし			
〔到達目標〕 主体的にスポーツ文化を享受し，運動を楽しむ態度を身に付ける。また，生涯スポーツの実践者としての資質や能力を養う。実技とレポートの作成を通してスポーツに対する独自の見解をもてるようにする。			
〔評価割合〕 各技能の習熟度 (20%)，レポートの執筆及び表現された内容の完成度 (20%)，実技課題への全般的な取り組み (60%) を総合して評価する。			

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己 評価*
前 期	1 週	体力・運動能力調査	文部科学省が定める「新体力テスト」を実施し、自己の体力・運動能力を把握する。	
	2 週	同上	同上	
	3 週	ソフトボール	4 年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
	4 週	バレーボール	同上	
	5 週	バスケットボール	同上	
	6 週	バドミントン	同上	
	7 週	テニス	同上	
	8 週	サッカー	同上	
	9 週	卓球	同上	
	10 週	選択制①	自ら種目を選択することにより、スポーツを愛好する態度を持つ。	
	11 週	水泳（水球等）	4 年次までの習得した技能を生かし、ゲームを行える。	
	12 週	選択制②	第 10 週と同じ	
	13 週	選択制③	同上	
	14 週	選択制④	同上	
	15 週	比較スポーツ文化論	レポートの執筆方法及びまとめ方について理解する。	
	16 週	まとめ	1 5 週の取り組み状況を総括できる。	

* 4：完全に達成した， 3：ほぼ達成した， 2：やや達成できた， 1：ほとんど達成できなかった， 0：まったく達成できなかった。